社協だより
2018年　4月号
No.68

しあわせ

編集発行／河合町社会福祉協議会　〒636-0061 奈良県北葛城郡河合町山坊24番地3
河合町総合福祉会館「豆山の郷」内
☎0745-58-2734
FAX0745-56-3820

コマ回し体験の様子

平成29年度

昔あそび体験学習を行いました！

福祉教育推進事業の展開も行っている社会福祉協議会では、平成３０年２月1日（木）河合第一小学校の生活科の一環で1年生を対象に、伝承玩具を使いながら昔遊びを体験することにより、日本古来の文化や現代との違い等を学ぶことを目的に、地域のボランティアさんの協力を得て、昔あそび体験学習を開催しました。1年生2クラス４３人を1グループ７～８人のグループに分け、時間を区切り順番に各体験を行いました。

昔遊びの種類

お手玉、ゴム鉄砲、だるま落とし、めんこ、コマ回しなど

だるま落とし体験の様子

ゴム鉄砲体験の様子

お手玉体験の様子

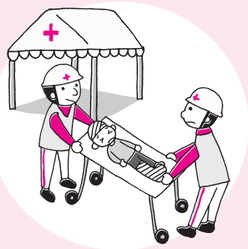
ふり返り

現在では、携帯電話（スマホ）や電子機器等によるゲーム遊びが主流になり、目を酷使したり、体を使うことも少なく、また1人で行うものが多くなってきています。それに対して、昔遊びでは、遊びの道具を作ることから始めたり、友達同士で言葉を交わしながら行うものが多く、人とひととのコミュニケーションを取ることも含まれています。また、それを使って体を動かしたり、目の前の相手と競い合うものや、複数で行うものが多く、今回体験してくれた生徒たちも無意識に喜怒哀楽を共有していたのではないかと感じました。

必ずしも、現代の遊びが悪いということではないですが、今回体験したような昔遊びが日ごとに薄れていく今日、今一度大人たちが地域で一緒になって遊び、教え、伝えていくことが、大切ではないかと感じました。

※昔遊び体験に、ご興味のある方などがいらっしゃいましたら、社会福祉協議会まで是非ご連絡ください。

日本赤十字社にご協力ください。



住民の皆さまには、赤十字事業の推進に日頃より格別のご支援とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。日本赤十字社は、人間のいのちと健康、尊厳を守るという使命をもって、いかなる状況下でも、人道的活動や救護活動を展開しています。また、いざという時に役立つ「赤十字講習」や「血液事業」など、さまざまな活動も展開しております。

赤十字活動は、日赤奉仕団、地域の皆さまからの「会費」と「寄附金」、そして多くのボランティアの方々によって支えられています。寄附金は払込取扱票でゆうちょ銀行からのご協力、または社会福祉協議会で受付しております。

皆さまの温かい、ご支援ご協力を賜りますよう、心からお願いいたします。

平成30年度 ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動中や活動場所への往復の途上で、ケガをしてしまった、あるいは人にケガをさせてしまった、物を壊してしまった、自分が怪我をしてしまった！そんな万が一の事故を補償する保険です。ボランティア活動をする方は是非とも加入をお勧めいたします。社会福祉協議会の窓口で、手続きの受付をしています。

ボランティア活動保険掛け金

Aプラン	350円
Bプラン	510円

※補償期間：平成30年4月1日（午前0時）～平成31年3月31日（午後12時）
※加入プランにより補償金額等がかわります。

社協だより『しあわせ』に有料広告を掲載しませんか？

社会福祉協議会では、社協だよりに掲載する有料広告を掲載してくださる方を募集します。河合町内に配布しています社協だより『しあわせ』であなたの会社や事業所をPRしませんか。

1．掲載場所　社会福祉協議会　社協だより『しあわせ』
2．掲載期間　平成３０年７月号～
3．掲 載 料　規格（１コマ）　縦５㎝　×　横９㎝
色調　２色
１コマ単発　１０，０００円（税込）
年度３回以上　８，０００円（税込）×回数
4．申込方法　有料広告掲載申込書（様式第１号）に広告案を添えて発行日の１ヶ月前までに申込みしてください。内容を審査し、掲載の可否をお知らせします。

社協だよりの詳細、ご質問につきましては……

河合町総合福祉会館『豆山の郷』内　河合町社会福祉協議会までご連絡ください。

☎ 0745-58-2734　FAX 0745-56-3820

障がい者レクリエーション事業

創作活動の様子

【目　的】

日頃、体験することの少ない文化創作活動や軽スポーツ等を行いながら、家族や友人、また地域のボランティアさんと交流し、新たな繋がりが生まれるような場を設けることで、気分転換を図り、地域で健やかに暮らしていけることを目的に開催しました。

【内　容】

毎年開催しており、今回は創作活動として「簡単ステンドグラス風制作」を行いました。ＯＰＰ（透明フィルム）袋に油性ペンで自由に絵を描き、カラーペンで着色します。そのまま窓ガラスに張り付けるだけで、ステンドグラス風に見えます。また、アルミホイルをくしゃくしゃにし、それを広げ厚紙に貼り付け、その上から着色したＯＰＰ袋を併せることで、見栄えがよくなっていました。額に入れることにより一層素敵な作品が出来上がりました。皆さまも額に入れると、入れないとでは見栄えが全然違うとおっしゃっていました。

平成29年度傾聴ボランティア養成講座を開催しました！

講座の様子

平成27年度に第1回目の傾聴ボランティア養成講座を開催し、河合町内に傾聴ボランティア団体が立ち上がり、施設や一人暮らしの高齢者宅などで活動されています。しかし、現代社会において地域や家庭内での人とひととのつながりが希薄化しおり、身近に話を聴いてくれる人がおらず、悩みや不安、寂しさを抱えている方がまだまだいらっしゃいます。そういった方々の想いや気持ちに耳を傾け、共感し、少しでも不安などを軽減していくことを目的に、傾聴ボランティア養成講座を開催しました。

【開催日程等】

- **開催日時**　平成30年2月3日～ 3月3日（毎週土）午後1時30分～ 3時30分
- **開催場所**　豆山の郷内　1階　研修室
- **講　　師**　吹田傾聴「ほほえみ」代表　長谷川　美津代　様　他
- **内　　容**　傾聴の意味と意義、認知症について、傾聴活動体験等　全5回
- **参 加 者**　9名（申込者10名）

修了証授与式の様子

【参加者の声】（一部抜粋）

- 「もっと早くに知っていれば良かった」（男性）
- 「相手を思いやることが、いかに大切かを実感した」（女性）
- 「難しさを実感し、話を聴く事の重要性が理解できて良かった」（女性）など

※傾聴ボランティアやボランティア活動にご興味のある方が、いらっしゃいましたら、社会福祉協議会まで是非ご連絡ください。

生活支援体制整備事業について

（平成２９年度から行政受託事業として実施）

概　要

住み慣れた地域で自分らしく、いつまでも暮らし続けることができる体制（医療・介護・予防・住まい・生活支援等）を整備すること。（支え合いの仕組み）

介護保険だけでは、高齢者の生活の全てを支えることが困難であり、介護サービスにおける人材不足も予想される中、介護保険で解決できない日常生活における問題を地域の連携力（福祉力）を高め、住民主体による活動を創出または支援を行い、減少傾向にある地域コミュニティの再生、様々な地域ニーズに対応するための各種関係機関とのネットワーク強化等を地域住民の皆さまと共に実践していく事業です。

平成 29 年度の実施内容

- 生活支援コーディネーターの配置…事業推進の中心的役割を担う者
- 地域実態調査…各種地域コミュニティへの訪問等…サロンや体操教室など
- アンケート調査と地域分析…地域ニーズの把握や町内の実情把握等
- ネットワーク構築…地域ケア会議やボランティア団体定例会、福祉施設等へも訪問を実施
- 情報収集…県・財団・ＮＰＯ等が主催する研修等への参加
- 地域検討会の実施…地域のことを地域の方が考える検討会の実施
- ボランティア育成…傾聴ボランティア養成講座・町ボ連で日赤講習を実施

平成 30 年度の計画

- 協議体の設置…地域課題の早期発見から解決までを行う為の協議体の設置
- 地域フォーラムの開催…生活支援体制整備事業について住民の方に啓発を行う
- 地域検討会の実施…暮らしやすい地域にする為の地域住民による話し合いの場
- 資源開発等…地域に不足するサービス等の創出や担い手の養成など
- ネットワーク構築…地域・行政・各種関係機関との情報共有や連携体制の整備

キーワード

「今は他人事でも、いつかは我が事」
「自分の地域は、自分たちで作る！」
「自分のために、今できること！」

どんな些細なことでも構いません、何かお困りごとや不安などがあれば、ご相談ください！特技やスキルがあるので是非とも地域貢献してみたい方や各種団体の皆さまもご連絡お待ちしています！

みんなで、温かい「支え合いのある地域」をつくりましょう！

生活福祉資金貸付制度

資金の貸付を通じて経済的な自立や、在宅福祉の向上を図ることによって住民の地域での安定した生活を支援します。

【資金種類】
- 総合支援資金…生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費
- 福祉費…福祉費、緊急小口資金
- 教育支援資金…教育支援資金、就学支度費
- 不動産担保型生活資金

【お貸しできる世帯】
- 低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯

◆資金の利用目的に応じて借り入れ出来る資金種類や借り入れ限度額が異なります。
◆返済の見込みのない場合や、他の借り入れの返済にはご利用いただけません。その他、貸付金額据置期間等、詳しくはお問合わせください。
◆資金の種類によって対象とならない世帯があります。

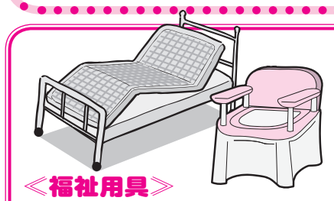
日常生活自立支援事業

在宅や施設等で生活されている高齢者や、知的障害・精神障害のある方などで、介護などのサービスに関することや普段のお金の扱いについて不安をお持ちの場合に安心して生活ができるようにお手伝いします。

このような事でお困りではありませんか？
- 福祉サービスを利用しているとき（福祉サービスを利用したり、変更したり手続きの仕方が難しい）
- 日頃お金の扱いが必要な時（サービスの利用料や社会保険料や公共料金の支払いの不安、預貯金の払い戻しや、預け入れがひとりでは不安）
- 普段の生活に必要な手続きがある時（送られてくる郵便物や通帳がよく分からない、放ったままにしている）
- 大切な通帳や印鑑をすぐに置き忘れる

◆サービスを利用するには手続きが必要です。
◆相談は無料です。契約後の支援には利用料がかかります。（生活保護世帯は無料です）

社会福祉協議会では福祉用具や物品器具の貸出を行っております。



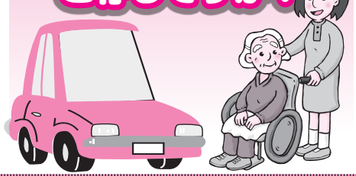
≪福祉用具≫

介護が必要となった場合、電動ベッドや車椅子等の貸出を行っています。ポータブルトイレやシャワーチェアもありますので、必要な方はお問合せください。
※社協会員の方は、１ヶ月無料でご利用できます。

≪物品器具≫

町内の方や団体に対して、イベント開催時に必要となった場合、鉄板、ポップコーン器具、金魚すくい用の水槽等の貸出を行っています。
※物品の貸出については有料です。

福祉有償運送事業をご存じですか？



社会福祉協議会では、介護認定を受けておられる要支援の方・身体障害者手帳等をお持ちの方を対象に通院を主として送迎サービスを実施しております。また、木曜日と土曜日の２日間、町内限定ではありますが、買物・金融機関公共施設の利用も可能。（一部利用できない場所もあります）

利用条件は、社会福祉協議会の会員への入会と福祉有償運送登録料が必要になります。
※ご不明な点がございましたらお問合せください。

河合町地域包括支援センター

福祉の相談場所として、河合町役場の中に地域包括支援センターがあります。私たちは、直接介護をするのではなく、ご本人、ご家族がお話される、不安、悩み、問題、改善したいことなどをご自宅、入院先、施設などでお伺いし、適切な機関や制度の紹介、手続きを行い、ご本人、ご家族が安心して生活していただけるようにお手伝いをさせていただきます。

ご連絡をいただければ、ご相談者の方が安心してお話しできる場所にお伺いします。

悩み、心配ごと…
一人で抱えていませんか？
お気軽にご相談ください

総合相談

「何を相談すればいいのか」、「整理してうまく話が出来ない」と皆さまからお話をお伺いします。私たちも今まで、「ご相談ください」と啓発をしてきましたが、皆さんのお声を聞き、相談ではなく、整理できない漠然とした不安や悩みをお話していただければ、相談援助の専門職である私たちが不安等の整理をさせていただきます。

相談ではなく、まずは皆様が整理できない悩みや不安を、私たちに聞かせていただければ整理や環境づくりを行います。

介護予防

河合町の高齢化率は36％、奈良県の高齢化率は29.5％。高齢化率は県より高いですが、健康寿命は県内上位！皆様の努力の賜物です。高齢化率はこれからも高くなると予想されます。元気な期間を伸ばすために、現在、地域で集まれる場所づくりの一つとして、「しゃきっと教室」を15大字で開催しています。一度のぞきに来られませんか？軽く体を動かして、喋って、笑いましょう♪

認知症

河合町内には認知症の相談や本人・家族同士で交流出来る場所がございます。

本人や家族内だけで抱え込むのではなく、かかりつけ医やご友人、地域包括等、ご自身で話しやすいと思うところにまずは相談してみましょう。また、認知症の方が在宅生活を続けていく為には、地域の方の認知症に対する理解が大切になってきます。ご連絡をいただくと、住民の方と共に認知症に関する勉強会等を開催させていただきますので、お気軽にご連絡ください。

医　療

生活に何が原因で支障をきたしているのかを明確にし、医療面での問題があった場合、介護福祉側から医療機関と連携し、状態の改善を図ります。

住民の方が望む生活に向けて、治療と介護、福祉において、必要な支援を専門職がチームとなり、現状の課題を整理し、目標に対するアプローチ方法を提案いたします。河合町には、支援体制が整っておりますので、不安やお悩みのある方はご相談ください。

介　護

介護保険で何ができるの？　という相談をよく受けますが、電球交換や庭掃除、サロンへの送迎は介護保険の対象外なのです。皆さまの多様なライフスタイルに対応してその人らしい暮らしを支えるには、地域での支え合い・民間サービス・行政サービス・公的制度を組み合わせて活用すること、介護サービス事業所が連携し、チームで支援ができることの2点が大切です。包括では研修会や事業所連絡会を通じてお手伝いをしています。